

令和 8 年度学校経営計画書

岡山県立岡山操山中学校

○ 本校のミッション（使命、存在意義）

岡山県立の併設型中高一貫教育校として岡山操山高等学校と一体となった特色ある教育活動を展開することにより、将来、グローバル社会で活躍し、その発展に貢献する「高い志」「確かな学力」「豊かな人間性」を持った生徒の育成を目指す。

○ 内外の環境分析

区分	内 部 環 境	外 部 環 境
特 色	・全県学区であり、生徒は広範囲から通学している。 ・生徒は学力、向上心ともに高く、何事にも積極的に取り組む姿勢がある。 ・多彩で特色ある教育活動が展開されており、未来航路プロジェクトや SOZAN 国際塾等の取組に主体的に生徒が挑戦している。 ・共通実践事項に基づいた授業研究が推進され、単元を通して個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る授業が展開できつつある。	・外部への授業公開や SNS 等を活用した積極的な情報発信により、本校の教育に対する認知度や評価が高い。 ・保護者は教育への意識が高く、本校教育への信頼と協力が得られている。 ・高校の教育資産等から協力・支援があり、中高の連携協力体制が整ってきている。 ・地域住民や卒業生からの期待と関心が大きく、支援が得られている。
課 題	・家庭学習への取組に差があることから、生徒が自分の強み弱みを把握し、自身の学びを自己調整する力を高める必要がある。 ・自尊心や自己肯定感が低い生徒が見られることから、一層、自己表現・自己決定の場を増やし、支持的風土の醸成を図る必要がある。 ・指導内容が多岐にわたるため、行事や教育活動の意義を再確認した上で、精選・見直しが必要である。	・継続的に本校の特色ある教育活動についての魅力的な広報活動を展開していく必要がある。 ・中高一貫教育のよさを一層発揮できるよう、中高の更なる連携と一体的な学校運営体制の強化が必要である。 ・卒業生や大学・企業等の教育資産を活用し、役割分担することで、教育効果を高める必要がある。

○ 本校のビジョン（将来像、目指す姿）

- (1) 自らの在り方や生き方を探求し、日本や国際社会の未来を切り拓く高い志を持った生徒を育成する学校
- (2) 主体的に学び、考え、個性や才能を最大限に伸ばす意欲と確かな学力を持った生徒を育成する学校
- (3) 社会の一員としての自覚を身に付け、互いに認め、共に高め合う、豊かな人間性を持った生徒を育成する学校

○ 具体的な学校経営目標・計画

(1) グローバル・リーダーの育成

- 【目標】 キャリア教育の充実を通して、本校が定めた世界の課題に果敢に挑戦するグローバル・リーダーとなるために必要な 6 つの資質・能力を伸張し、生徒の学習意欲や進路意識を高めるとともに、国際的な視野を拡げる機会を充実させる。
- 【計画】 ○ 「未来航路プロジェクト」における探究的な学習活動（課題研究）を推進する。
○ 「SOZAN 国際塾」では校外でのコンテスト・ボランティア等への積極的な参加を促す。
○ 「SOZAN Global Can-do List」に基づき、中高一貫校の利点を生かした学習活動と生徒自身が 6 つの資質・能力の伸張を図ろうとする活動を実施する。

(2) 確かな学力の定着・授業力向上

- 【目標】 生徒一人一人の主体的かつ協働的に学びに向かう意欲を高め、高大への基盤となる習得した知識・技能を活用する力や思考力・判断力・表現力等の確かな学力を定着させる。そのための授業改善を推進し、教員の授業力の向上を図る。
- 【計画】 ○ 研究授業や相互参観を通じて教員の授業力向上と生徒の学力向上に繋がるよう、計画的な校内研究と校内外での自己研鑽を促進する。
○ 自ら学習を調整しながら粘り強く学習に取り組めるよう、授業の個別最適な学びの場や家庭学習の充実を図る。
○ 選択教科や社会人講師授業を活用し、中高一貫校としての系統性を意識した深い学びの授業を実践する。

(3) 生徒に対する総合的な支援の推進

- 【目標】 生徒の心身の健康の増進と自己肯定感・自己有用感の高揚を図るとともに、共感的人間関係と支持的風土のある学級・学校風土を醸成することで、安全・安心な教育環境を整備する。
- 【計画】 ○ 同学年・異学年によるピア・サポートや道徳教育の充実を図る。
○ シャボテンログや ASSESS 等の活用により、心身の健康状態や気になる生徒の早期発見・早期対応につなげる。
○ 中高一貫校としての自立応援室を活用した校内体制づくりを進めるとともに、SC・SSW 等との密接な情報共有と連携体制を加速させることにより、多角的な支援体制の充実を図る。

(4) 開かれた学校づくりの推進

- 【目標】 積極的かつ魅力的な情報発信に努め、開かれた学校づくりを推進する。また、生徒の校外での活動機会を拡充し、教育効果の向上を図る。
- 【計画】 ○ 日常的な特色ある教育活動や「SOZAN 国際塾」等の生徒の活躍についての広報活動を内外に向け積極的に行う。
○ ICT を活用した情報提供・発信により保護者・地域・関係機関等との連携を強化する。
○ 学校評価の結果分析を踏まえ、次年度の取組の改善に活かす。

(5) 組織の活性化と効率化の推進、教職員の健康の維持

- 【目標】 学校の課題や将来ビジョンをすべての教職員が共有し、ベクトルの合った業務を遂行するとともに、互いに高め合う職場環境を創ることで、業務の効率化を図る。
- 【計画】 ○ 学校評価・自己目標を活用し、本校に求められる教育の質を維持しながら、業務の内容の精選・見直しを行う。
○ 日常的な情報共有と協働的で助け合う教職員組織の風土の醸成により、心理的安全性を確保する。
○ 「ミライム」の活用により勤務実態を把握し、超過勤務の解消につなげる。